

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オレンジキッズ熱田		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月2日		2026年2月28日

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの活動スペースが確保できている。	児童発達支援のお子様を利用する指導訓練室には机や椅子だけではなく、全面がマットフロアーとし安全面にも配慮した広々とした空間となっております。体を動かすなどの活発な活動も積極的取り入れていっています。	お子様たちの個々の課題に応じた活動だけではなく集団で楽しく出来るように取り組んでいます。指導訓練室内はお子様の怪我などがないよう環境整備、安全管理を心がけていきます。
2	活動プログラムが固定化しないように留意している。	保護者の方々やお子さんの様子を見て、必要な課題を検討し柔軟に活動プログラムに取り入れていっています。指導員それぞれが各々の強みを活かし、お子さんの選択肢が広がるような支援を目指しています。	新しい情報に意識を向け、研修にも積極的に参加するなどして指導員の専門性を高められるような環境作りを心がけていきます。
3	保護者様との連携や意思疎通、情報伝達が深く出来ている。	事業所で送迎をしているため、保護者の方々なかなか実際の療育を見ていただく機会が少ない現状です。ご利用後の様子についてはHUGの連絡ツールなどを使用しながら、送迎時の受け渡しの際にも直接お伝えをしています。また、どのような活動を行っているかなど詳細につきましては、ブログやSNSなどで写真付きで共有をしております。	面談時だけではなく送迎時など相談しやすい環境を目指し、保護者様との連携を深められるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ないこと。	土曜日には子ども食堂や児童館などに出かけ、地域のお子様との交流を深められる環境作りをしていますが、その回数が少ないため皆さんに提供できていないということ。	夏祭りの開催時や、地域の児童館に出かけるイベントなどの告知をしっかりと行い、交流出来る機会が増やすことが出来るように努めていきます。
2	家族が参加できる研修会や情報提供の機会が少ないこと。	日程の調整が難しく、研修会を開催したりする機会が少ないこと。	ニーズに合わせて研修会などの開催を検討していきます。
3	通信やホームページを通して、定期的に活動内容の発信をしているが見て頂く機会がない。	事業所で送迎をしているため、保護者の方々なかなか実際の療育を見ていただく機会が少ない現状です。どのような活動を行っているか、ブログやSNSなどで写真付きで共有をしておりますが、新しく更新したお知らせなどはしていない為、見て頂く機会が少ないこと。	写真のみならず動画なども撮影し、面談の際などにより分かり易い形でお子さんの姿を見ていただけるように努めていきます。